

暑い季節に…こわ〜い話

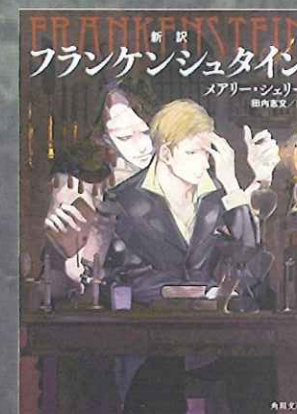


『向日葵の咲かない夏』 新潮社

道尾 秀介 / 著

欠席したS君の家を訪れたミチオ。きい、きい。おかしな音がする。S君は首を吊って死んでいた。だが、死体は消えてしまう…。

一読しただけでは意味がわかりにくいラスト。謎の残るタイトル。ゾクッとしたい方は是非どうぞ。



『新訳 フランケンシュタイン』 KADOKAWA

メアリー・シェリー / 著 田内 志文 / 訳

若き科学者フランケンシュタインは研究に研究を重ねた結果、ついに生命を創出することに成功する。しかし、怪物のように醜悪なその容貌に恐れおののき故郷に逃げてしまった彼を待ち受けていた運命とは…。

ゴシック小説の古典的名作。



『東海道四谷怪談—非情で残忍で、切なく悲しい物語—』

金原 瑞人 / 著 佐竹 美保 / 絵 岩崎書店

江戸時代に起きたとされる事件をもとに創作された日本の代表的な怪談話。終始残酷でおそろしい話だが、欲望に翻弄される人の姿なども描かれ、共感できる部分もある。人気作家が古典を読みやすくアレンジしているので、手に取りやすい1冊。



『かがみのなか』 岩崎書店 恩田 陸 / 作

樋口 佳絵 / 絵 東雅夫 / 編

怖いといっても絵本でしょ？そう思ったアナタ、是非この本をお家で、薄暗い部屋で、たった一人で読んでみて。読めばわかる。こんなすごい本がアンパンマンとかの近くに普通に並んでるって、図書館こそ怖いかも…。



『押絵と旅する男』 立東舎

江戸川 乱歩 / 著 しきみ / 絵

私が初めて蜷気楼を見た帰りの二等車の客は、他に男一人だけだった。まるで西洋の魔術師のような男の膝には黒い風呂敷包み。私が見てしまったその中味は、この世のものならぬ絵だった…。しきみのイラストとのコラボレーション。

☆高井戸図書館VS高井戸中学校 ビブリオバトル開催☆

日時:7月12日(木) 高井戸中学校の昼休み

場所:高井戸図書館2階ホール(YA広場)

ビブリオバトルとは、バトラー2人が5分間で本の紹介をし、2~3分の質問タイムの後、観客が読みたくなった本に投票する「知的書評合戦」です。多数のご参加、お待ちしております！